NIPPO

ニッポー計算タイムレコーダー

小型計算タイムレコーダー

TIMEBOY 6
ELECTRONIC
TIME RECORDER

取扱説明書

電源ONですぐ稼働

本機は電源ONですぐにご使用になれるよう、年・月・日・時・分があらかじめセットされています。
締日が20日であれば<タイムボーイカード>はそのまま、<カルコロカード>は1分単位の計算（日時就業計算）ができます。
詳しくは本書をお読みいただき、ご理解のうえ、ご使用ください。

株式会社テクノ・セブン

ご採用にあたって

このたびは、ニッポー計算タイムレコーダー「**タイムボーイ 6**」をご採用いただき誠にありがとうございました。
本機は**「タイムボーイカード」**または**「カルコロカード」**何れかのタイムカードがご使用になれます。
通常の出勤打刻と退勤打刻だけを印字するなら**「タイムボーイカード」**をご使用ください。（説明＝6頁から）通常打刻に加えて1日の就業時数を計算印字する場合は**「カルコロカード」**をご使用ください。（説明＝12頁から）なお、詳細につきましてはこの説明書をご覧いただき、よくご理解のうえ末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

ご愛用者カードと保証について

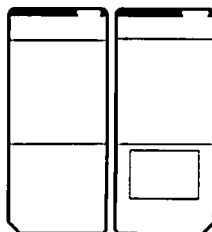
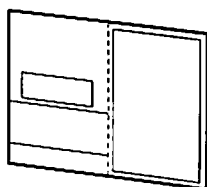
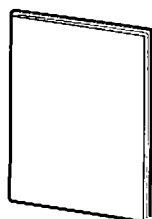
「ご愛用者カード」は、所定事項をご記入の上、当社までご返送ください。アフターサービスなどの資料とさせていただきます。
「品質保証書」は、ご購入年月日・お買い上げ店名などの記入をご確認いただき、大切に保管するようお願いいたします。

アフターサービスについて

- 保証期間はお買上日から「3年間」です。
- 万一故障が発生した場合は、23頁の「故障かなと思ったら」をご確認ください。
- 修理が必要な場合は、お買上げの販売店あるいは最寄りの弊社営業所へお持込みください。（持込修理）

付属品をお確かめください

取り出したら、付属品をお確かめください。

取扱説明書（本書）　ご愛用者カード　品質保証書　タイムボーイカード　1枚　カルコロカード　1枚　固定ネジ（壁取付用）2個

目次

1 安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- この機器の〈裏ぶた、カバー〉は外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電や火災のおそれがあります。

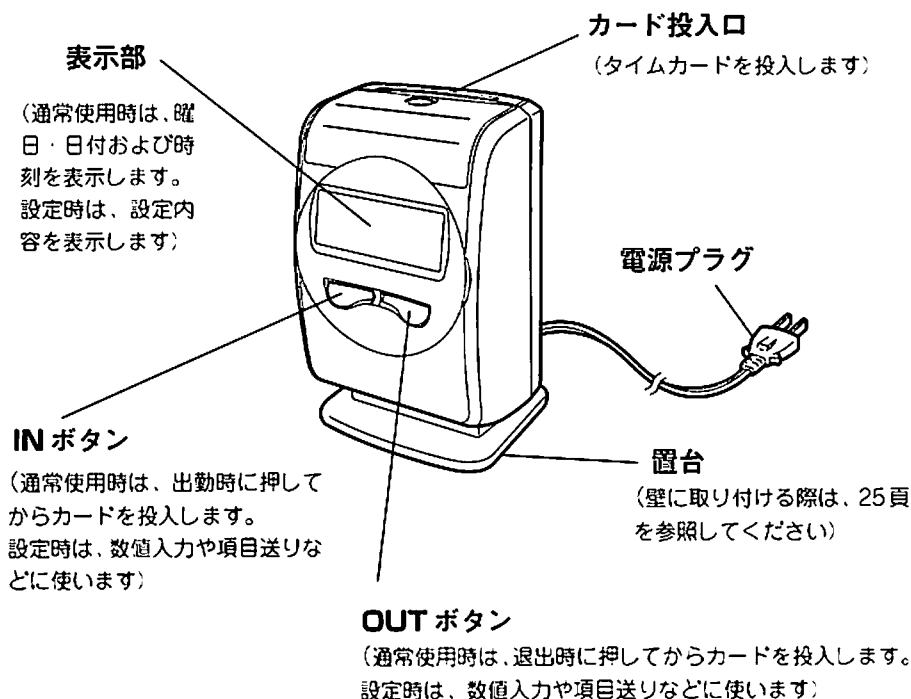
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社あるいは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。
- 万一、異物〈金属片、水、液体〉が機器内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社あるいは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

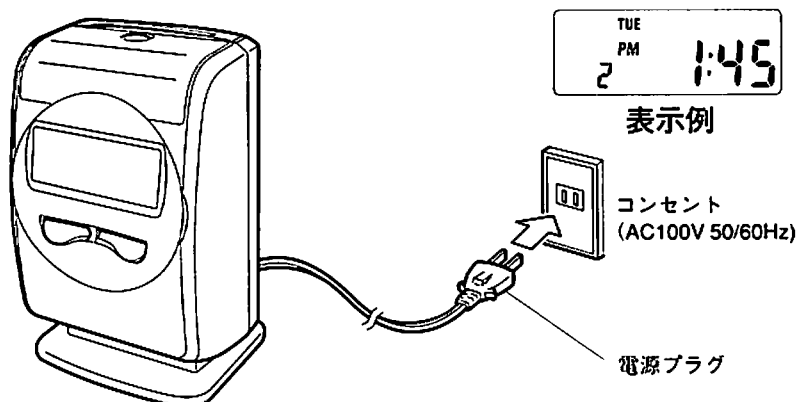
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

注意

- 本機を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

- プリンターヘッドは高温になりますので手を触れないでください。やけどのおそれがあります。
- 〈ぐらついた台の上や傾いた所〉など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に〈花瓶、植木鉢、コップ〉や水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 〈調理台や加湿器のそばなど〉油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください。）

2 各部の名称とはたらき

3 電源の入れかた

本体後面からでている電源プラグを電源コンセント(AC100V 50/60Hz)に差し込みます。
表示部に時刻・曜日および日付が表示されることを確認してください。

本品は工場出荷時に年・月・日・時・分を合わせて出荷しています。
時刻があっているか確認をしてください。

➡時刻が合っていない場合は、「時計の合わせかた」(8・14頁)を参照して修正してください。

4 印字例

■タイムボーイカード使用の印字例

注意：タイムカードの印字段は必ず1日の上に1段空白が空くようになっております。

上記印字例は、下記設定で印字したものです。

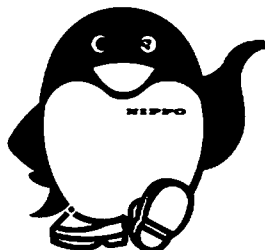
アドレス番号	設定内容	
02	時刻設定	現在時刻
03	締日設定	月末締め
04	日替設定	午前3時
05	出退切替	午後12時30分
06	丸め	設定不要（99：99）
07	丸め方式	設定不要（99：99）

■カルコロカード使用の印字例

注意：タイムカードの印字段は必ず1日の上に1段空白が空くようになっております。

上記印字例は、下記設定で印字したものです。

アドレス番号	設　定　内　容	
02	時刻設定	現在時刻
03	締日設定	月末締め
04	日替設定	午前3時
05	出退切替	設定不要（99：99）
06	丸め	15分丸め
07	丸め方式	時刻丸め

5 タイムボーイカードをご使用になる場合

ご使用に際してのご注意

□タイムカードの表面/裏面

タイムカードには「表面＝前半」と「裏面＝後半」があります。
締日の種類により前半と後半の印字面が変わりますのでご注意ください。
表面と裏面を間違えるとエラーメッセージ(EC-C)が表示部に表示されますので、表面/裏面を確認して再投入してください。

□印字方法

そのままタイムカードを投入します。
ある程度タイムカードを差し込むと自動的に本機に引き込まれ印字されます。
印字が終わるとタイムカードは自動的に戻ります。

□IN/OUTボタン

・出勤したときは：**「IN」**ボタンを押してからタイムカードを投入します。
・退勤するときは：**「OUT」**ボタンを押してからタイムカードを投入します。

□「出退切替時刻」(11頁参照)が入力されている場合

・出勤したときは：切替時刻以前に出勤した場合は、そのままタイムカードを投入します。
切替時刻以後に出勤する場合は、「IN」ボタンを押してからタイムカードを投入します。
・退勤するときは：切替時刻以後に退勤した場合は、そのままタイムカードを投入します。
切替時刻以前に退勤する場合は、「OUT」ボタンを押してからタイムカードを投入します。

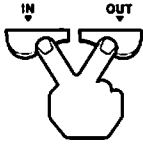
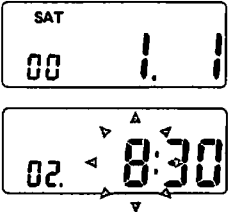
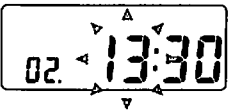
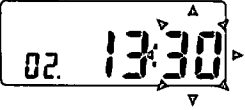
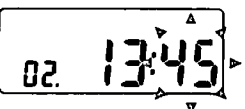
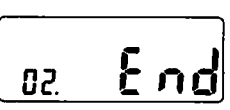
□打ち忘れ
打刻「打ち忘れ」は時刻をさかのぼって印字修正することはできません。

□停電
停電があっても設定内容は消えません。リチウム電池でバックアップしていますのでご安心ください。
また、停電中も内部の時刻は止まりませんので、機械は停電復帰後時刻を自動補正いたします。ただし、停電中の操作／印字はできません。

□時刻補正
年月日を戻したり、進めたりはできませんが日常の時計の進み遅れ程度は時刻を修正できます。（8頁参照）
時刻修正確認のため、第1打刻にコロン（：）は印字しないようになっています。（不正防止のため）

□集計
タイムボーイカードはご使用になっても1日の就業時間は集計されません。

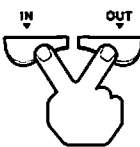
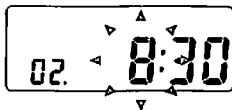
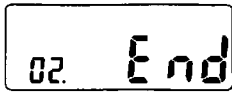
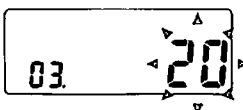
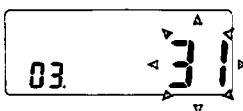
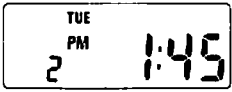
5

本機は工場出荷状態で「年・月・日・時・分」を合わせて出荷されています。
- 電源を入れても時刻が合っていない場合
  ➡次頁の「時計の合わせかた」を参照のうえ、正しい時刻に合わせてください。
  ➡続いて9頁の「締日の変更」を参照のうえ、「締日」を合わせてください。（初期設定は「20日」になっています。）
- 夜が遅い職場の場合
  ➡10頁の「日替時刻の変更」を参照のうえ、日替時刻を遅い時間にずらしてください。

便利な使いかたとして「出退切替時刻の変更」（11頁参照）もできます。不要な場合は設定はいりません。

6 時計の合わせかた

ご使用中に時計の進み遅れがあった場合に修正します。

■たとえば時刻午前8:30を午後1:45に合わせる場合

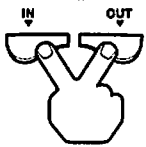
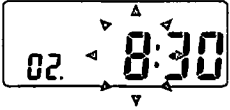
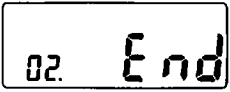
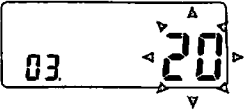
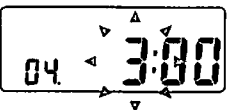
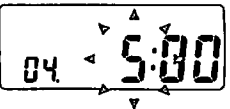
順序	操　作	説　　明	表 示 部
1	3秒 IN OUT	**IN**と**OUT**のボタンを同時に**3秒間**押し続けます。 年・月・日を表示後、時:分の画面に変ったら手をはなしてください。	SAT 00 1. 1 02. 8:30
2	IN	**IN**ボタンを押すと「**時**」が進みます。13時まで進めてください。 時は24時間(00～23:00)で入力してください (例)午後1:45➡13:45	02. 13:30
3	OUT	合わせたら**OUT**ボタンを**1回**押してください。 ➡入力しました。	02. 13:30
4	IN	次に**IN**ボタンを押すと「**分**」が進みます。 45分まで進めてください。	02. 13:45
5	OUT	合わせたら**OUT**ボタンを**2回**押してください。 〈通常画面に戻ります〉	02. End

00秒スタート：順序5で**OUT**ボタンを**1回**押すと**00秒スタート**となります。

時刻修正確認印字：時計を直した後の**第一打刻**は「**：**」が**印字されません。**

7 締日の変更

締日を変更する場合、下記の操作を行ないます。

■たとえば20日締めを月末締めに変える場合

順序	操　作	説　　明	表 示 部
1	3秒 IN OUT	**IN**と**OUT**のボタンを同時に**3秒間**押し続けます。 年・月・日を表示後、時：分の画面に変ったら手をはなしてください。	02. 8:30
2	OUT	**OUT**ボタンを**2回**押します。 (時分の入力画面を飛ばします)	02. End
3	IN 3秒	さらに**IN**ボタンを**3秒間**押し続けます。 締日の画面に変わったら手をはなしてください。	03. 20
4	IN	**IN**ボタンを押すと「**締日**」が変わります。 31まで進めてください。 (月末締めは31と入力)	03. 31
5	繰り返し押す OUT	合わせたら**OUT**ボタンを**繰り返し(6回以上)**押してください。 《通常画面に戻ります》	TUE PM 2 1:45

3分間チェック　：　設定変更中に3分間以上無入力状態が続くと、表示画面が消え通常画面に戻ります。再度順序1からやり直してください。

8 日替時刻の変更

日替時刻を変更する場合、下記の操作を行ないます。

本機は工場出荷時に1日の終了時刻が午前3時にセットされています。

日替時刻変更の必要がない場合、この操作は不要です。

■たとえば日替時刻を午前5時に変える場合

順序	操作	説明	表示部
1	3秒 IN OUT	**IN**と**OUT**のボタンを同時に**3秒間**押し続けます。 年・月・日を表示後、時:分の画面に変ったら手をはなしてください。	02. 8:30
2	OUT	**OUT**ボタンを**2回**押します。 (時分の入力画面を飛ばします)	02. End
3	IN 3秒	さらに**IN**ボタンを**3秒間**押し続けます。 締日の画面に変わったら手をはなしてください。	03. 20
4	OUT	**OUT**ボタンを**1回**押します。 (締日の入力画面を飛ばします)	04. 3:00
5	IN	**IN**ボタンを押すと「**時**」が変わります。 5まで進めてください。	04. 5:00
6	繰り返し押す OUT	合わせたら**OUT**ボタンを**繰り返し(5回以上)**押してください。 〈通常画面に戻ります〉	TUE 2 PM 1:45

ご注意 日替時刻では、分の設定はできません。

9 出退切替時刻の設定

出勤打刻（IN）から退勤時刻（OUT）への自動切替時刻を設定する場合、下記の操作を行ないます。

■たとえば出勤/退勤切替時刻を午後12時30分に設定する場合

順序	操作	説明	表示部
1	3秒 IN OUT	**IN**と**OUT**のボタンを同時に**3秒間**押し続けます。 年·月·日を表示後、時:分の画面に変ったら手をはなしてください。	02. 8:30
2	OUT	**OUT**ボタンを**2回**押します。 （時分の入力画面を飛ばします）	02. End
3	IN 3秒	さらに**IN**ボタンを**3秒間**押し続けます。 締日の画面に変わったら手をはなしてください。	03. 20
4	OUT	**OUT**ボタンを**1回**押します。 （締日の入力画面を飛ばします）	04. 3:00
		OUTボタンをもう**1回**押します。 （日替時刻の入力画面を飛ばします）	05. 99:99
5	IN	**IN**ボタンを押すと「**時**」が変わります。合わせたら**OUT**ボタンを**1回**押します。	05. 12:00
	OUT	**IN**ボタンを押すと「**分**」が変わります。合わせたら**OUT**ボタンを**1回**押します。	05. 12:30
6	繰り返し押す OUT	合わせたら**OUT**ボタンを**繰り返し(3回以上)**押してください。 《通常画面に戻ります》	TUE PM 2 1:45

ご参考 出勤打刻（IN）から退勤時刻（OUT）への自動切替時刻を設定することによって印字を自動化できます。
不要な場合は設定しなくてもそのまま「**IN**」ボタンと「**OUT**」ボタンの操作でご使用になれます。（初期設定 99：99）

9

10 カルコロカードをご使用になる場合

ご使用に際してのご注意

□カード番号

カルコロカードにはタイムカード1枚ごとに違った番号が印刷されております。(1番～50番) 機械はこの番号 (バーコード) を読み取って計算します。
ご使用に際しては同じ番号のタイムカードが同月度内に重複しないよう、注意してください。

□使用人数

ご使用になれる人数は1ヶ月=最大50人までです。

□時刻修正

いったん、ご使用になると年月日を戻したり、時刻を戻したりできません。ただし、日常の時計の進み遅れ程度は時刻を修正できます。(14頁参照)

□設定変更

設定内容を途中で変更することは極力避けてください。計算方法が変わるとデータが違ったり、打刻できなくなったりすることがあります。
どうしても設定変更する場合は、その日の全員打刻後に修正してください。

□印字方法

そのままタイムカードを投入します。
ある程度タイムカードを差し込むと自動的に本機に引き込まれ印字されます。
印字が終わるとタイムカードは自動的に戻ります。

□タイムカードの表面/裏面

タイムカードには「表面＝前半」と「裏面＝後半」があります。
締日の種類により前半と後半の印字面が変わりますのでご注意ください。
表面と裏面を間違えるとエラーメッセージ(EC-C)が表示部に表示されますので、表面/裏面を確認して再投入してください。

□IN/OUTボタン

・カルコロカードは出勤/退勤時のボタン操作は通常不要です。
機械が読み取って、1回目は**「IN」**、2回目は**「OUT」**と判断して自動印字します。

□打刻

タイムカードへの打刻は1日(IN/OUT)2回だけです。
退勤時に時間計算(退出ー出勤＝時数)して3欄目に1日の就業時数を印字します。

□打ち忘れ

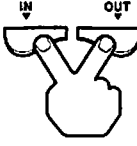
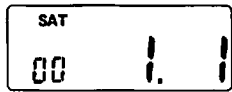
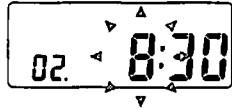
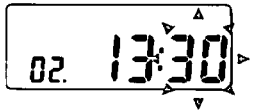
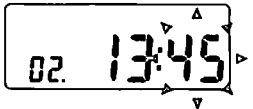
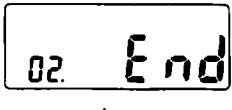
一旦お使いになると時刻を戻して修正印字することはできません。

□3分間チェックについて

出勤打刻(IN)後、重複を避けるため、3分間以内に同じカードへの印字はできません。3分後に印字してください。

□直行/直帰

・朝「直行」して(または打ち忘れしたとき)、退勤のみを印字する場合
「OUT」ボタンを押してからタイムカードを投入します。
出勤欄は空白になりますので、後日手計算で修正してください。
・夜「直帰」して(または打ち忘れしたとき)、翌日出勤を印字する場合
そのままタイムカードを投入します。
前日の退勤欄は空白になっておりますので、後日手計算で修正してください。

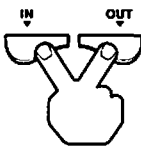
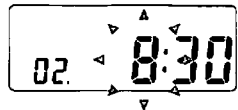
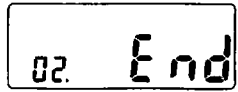
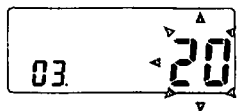
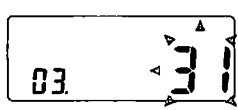
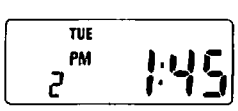
□停電

停電があっても設定内容は消えません。リチウム電池でバックアップしていますのでご安心ください。
また、停電中も内部の時刻は止まりませんので、機械は停電復帰後時刻を自動補正いたします。
ただし、停電中の操作/印字はできません。

11 時計の合わせかた

時計の進み遅れがあった場合に修正します。

■たとえば時刻午前8:30を午後1:45に合わせる場合

順序	操　作	説　　明	表示部
1	3秒 IN　OUT	**INとOUT**のボタンを同時に**3秒間**押し続けます。 年・月・日を表示後、時：分の画面に変ったら手をはなしてください。	SAT 00 1. 1 02. 8:30
2	IN	**IN**ボタンを押すと「**時**」が進みます。13時まで進めてください。 時は24時間(00〜23:00)で入力してください (例)午後1:45➡13:45	02. 13:30
3	OUT	合わせたら**OUT**ボタンを**1回**押してください。 ➡入力しました。	02. 13:30
4	IN	次に**IN**ボタンを押すと「**分**」が進みます。 45分まで進めてください。	02. 13:45
5	OUT	合わせたら**OUT**ボタンを**2回**押してください。 《通常画面に戻ります》	02. End

00秒スタート：順序5で**OUT**ボタンを**1回**押すと**00秒スタート**となります。

時刻修正確認印字：時計を直した後の**第一打刻**は**「：」**が**印字されません。**

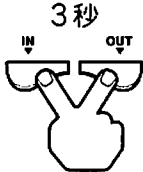
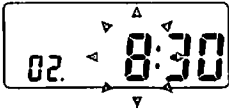
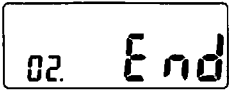
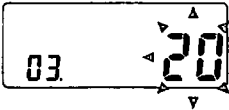
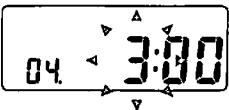
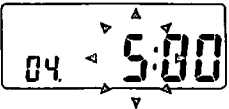
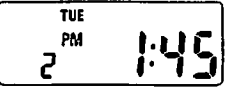
12 締日の変更

締日を変更する場合、下記の操作を行ないます。

■たとえば20日締めを月末締めに変える場合

順序	操　作	説　　明	表 示 部
1	3秒 IN　OUT	**IN**と**OUT**のボタンを同時に**3秒間**押し続けます。 年･月･日を表示後､時:分の画面に変ったら手をはなしてください。	02. 8:30
2	OUT	**OUT**ボタンを**2回**押します。 （時分の入力画面を飛ばします）	02. End
3	IN　3秒	さらに**IN**ボタンを**3秒間**押し続けます。 締日の画面に変わったら手をはなしてください。	03. 20
4	IN	**IN**ボタンを押すと｢**締日**｣が変わります。 31まで進めてください。 （月末締めは31と入力）	03. 31
5	繰り返し押す OUT	合わせたら**OUT**ボタンを**繰り返し(6回以上)**押してください。 《通常画面に戻ります》	TUE PM 2 1:45

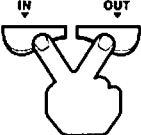
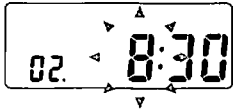
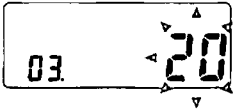
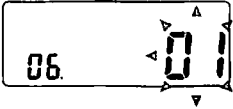
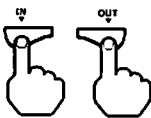
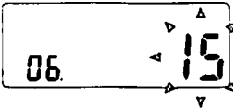
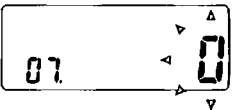
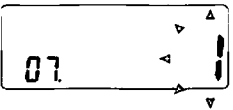
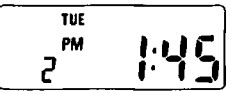
｢カルコロカード｣を使用している場合、途中でなるべく設定変更はしないでください。設定を途中から変更するとその日の退勤(OUT)と就業時数が印字できなくなる場合があります。
設定を変更する場合は、全員の退勤打刻(OUT)後に行ってください。

3分間チェック　：　設定変更中に3分間以上無入力状態が続くと、表示画面が消え通常画面に戻ります。再度順序1からやり直してください。

13 日替時刻の変更

日替時刻を変更する場合、下記の操作を行ないます。

本機は、工場出荷時に１日の終了時刻が午前３時にセットされています。
日替時刻変更の必要がない場合、この操作は不要です。

■たとえば日替時刻を午前５時に変える場合

順序	操　作	説　　明	表示部
1	３秒 IN OUT	**IN**と**OUT**のボタンを同時に**3秒間**押し続けます。 年･月･日を表示後､時:分の画面に変ったら手をはなしてください。	02. 8:30
2	OUT	**OUT**ボタンを**2回**押します。 （時分の入力画面を飛ばします）	02. End
3	IN ３秒	さらに**IN**ボタンを**3秒間**押し続けます。 締日の画面に変わったら手をはなしてください。	03. 20
4	OUT	**OUT**ボタンを**1回**押します。 （締日の入力画面を飛ばします）	04. 3:00
5	IN	**IN**ボタンを押すと「**時**」が変わります。 5まで進めてください。	04. 5:00
6	繰り返し押す OUT	合わせたら**OUT**ボタンを**繰り返し(5回以上)**押してください。 〈通常画面に戻ります〉	TUE PM 2 1:45

ご注意　日替時刻では、分の設定はできません。

14 計算式

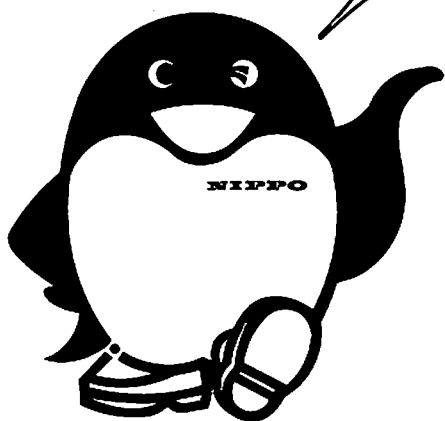
1日の就業時数を計算させるために、丸め単位（分）と丸め方式（時刻丸め/時数丸め）の設定が必要です。

ご参考
丸め単位：1·5·10·15·20·30·60分の丸め単位があります。（22頁参照）
丸め方式：「時刻丸め」：0と「時数丸め」：1があります。（22頁参照）

■たとえば就業時数を「15分単位」の「時数丸め方式」に設定する場合

順序	操　作	説　明	表示部
1	3秒 IN OUT	**IN**と**OUT**のボタンを同時に**3秒間**押し続けます。 年·月·日を表示後、時:分の画面に変ったら手をはなしてください。	02. 8:30
2	OUT	**OUT**ボタンを**2回**押します。 （時分の入力画面を飛ばします）	02. End
3	IN 3秒	さらに**IN**ボタンを**3秒間**押し続けます。 締日の画面に変わったら手をはなしてください。	03. 20
4	3回または4回 OUT	**OUT**ボタンを**3回または4回**押します。 （締日～出勤/退勤切替時刻の入力画面を飛ばします）	06. 01
5	IN OUT	**丸め単位**を入力します。 **IN**ボタンを押すと「**分**」が変わります。合わせたら**OUT**ボタンを**1回**押します。	06. 15
6	IN OUT	**丸め方式**を入力します。 **IN**ボタンを押して設定します。合わせたら**OUT**ボタンを**1回**押します。 **0:時刻丸め（初期値）** **1:時数丸め方式**	07. 0 07. 1
7	OUT	合わせたら**OUT**ボタンを**1回**押して終了です。 〈通常画面に戻ります〉 **終了**	TUE PM 2 1:45

ご苦労さまでした
わからないときは次頁からの
「Q&A」や「用語とヒント」を
参考にしてね！

NIPPO

15 Q&A（カルコロカード使用）

● **50人以上でカルコロカードを使いたいが？**

できません。集計できるのは、この機種では最大50人までです。
50人までをカルコロカードを使い（就業時数印字する）、51人からタイムボーイカードを使用すれば（就業時数印字しない）、50人以上でも使えます。

● **途中外出の打刻はできるの？**

途中外出の打刻（印字）はできません。打刻は、1日2回だけです。

● **カルコロカードは番号順に使わなければならないの？**

カードNo.は、バラバラでもかまいませんがNo.1から順々にご使用されることをおすすめします。

● **同じ番号のカルコロカードは使えるの？**

できません。月度内は、同じ番号のカードが重複しないように注意してください。

● **打ち忘れは就業計算する？**

計算しません。また、時計を戻して打刻をしないでください。
計算結果がくるったり印字できなくなる場合があります。

15

● **途中入社があった場合は？**

50人以下でご使用になっていた場合は、重複していない番号（No.）のカルコロカードをお使いください。その日からの就業時数を印字します。

● **設定の変更は何時でもできるの？**

できません。使用中に、設定の変更をするとデータが間違って計算されたりする可能性があります。
設定変更は、全員の退勤打刻（OUT）後に行なってください。
時刻の場合は、大幅に修正すると就業時数が間違って計算されたりする可能性がありますが、時計の精度誤差程度なら問題ありません。時計が数分遅れたり進んだりしているのに気がついたら早めに修正してください。
また、リセットボタンを押して年月日を修正すると設定内容や打刻データがすべて消えますのでご注意ください。「タイムボーイ6」は、万年カレンダーになっていますので通常修正の必要はありません。

Q&A

● **設定操作を間違えたときはどうしたらいいの？**

途中で操作を間違えた場合は、**OUT**ボタンを繰り返し押して通常画面に戻し、順序1から設定をやり直してください。

● **3分間チェックってなあに？**

設定変更中に3分間以上無入力状態が続くと、表示画面が消え通常画面に戻ることをいいます。この場合、順序1からやり直してください。

● **設定途中で設定を終了したいとき、どうしたらいいの？**

そのまま3分間なにもしないで待つか、通常画面になるまで**OUT**ボタンをくり返し押してください。

● **ある項目だけ変更したいときはどうするの？**

変更したい項目番号が表示されるまで**OUT**ボタン／**IN**ボタンで画面を進め、変更項目を入力し直してください。

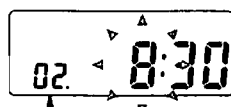
15

16 索引　用語とヒント

□ End 表示

設定途中に表示されるメッセージで、通常設定が終了したことを意味しています。この状態で IN ボタンを 3 秒間押すと次の設定に進みます。**OUT** ボタンを押すと通常画面に戻ります。
また、この状態で 15 秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

□ アドレス番号

設定操作のとき、表示部の左下に表示される番号で、この番号により現在の設定が何かを知ることができます。

アドレス番号
（例）02 ＝時分設定の番号

□ エラーコード

操作の間違いや機械にトラブルが発生したときに表示部に表示される英数字のことです。➡24頁参照

□ カード No.

カルコロカード 1 枚 1 枚に印刷されているマークおよび数字です。タイムボーイ 6 はカルコロカード使用の場合、このカード No. を読むことで 1 日の就業時数を計算します。

□ コメント印字

時刻印字の次に印字される異例マークで、次の意味をもちます。

「＊」: 出勤打ち忘れ
「チ」: 遅刻　　「ソ」: 早退　　「ザ」: 残業

異例マークは使用するカードや設定内容によって印字される/印字されないが決まります。

□ 時刻丸め

カルコロカード使用で、出勤時（IN）と退勤時（OUT）にそれぞれの時刻を丸め単位で切り上げ、切り捨てをして就業時数を計算します。

（例）：15分丸め、出勤9：01 ➡ 9：15、退出16:05 ➡ 16:00
　　　　　　　　　　　　　　切り上げ　　　　　　　切り捨て
　　　　　　　　　<計算式> 16：00－ 9：15= 時数6:45

□ 時数丸め

カルコロカード使用の出勤時（IN）から退勤時（OUT）を引き算した結果を丸め単位で切り捨てます。

（例）：15分丸め、退出 16：05－出勤 9:01=7:04 ➡ 7:00
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　切り捨て
　　　　　　　　　<計算式> 16：05－ 9:01= 7:04 ➡ 時数7:00

□ 締日

会社でいう1ヶ月の最終日（給与の締日）のことで、締日後の1日目から次の締日までを1ヶ月として計算します。

□ 初期値

リセットスイッチを押して機械がオールクリアされた状態の数値をいいます。

□ タイムボーイカード

本機専用のカードです。カルコロカード使用時と異なり人数の制限がありませんが一応50人使用を目途としてください。

16

□ 丸め単位

カルコロカード使用で勤務時間の分の位を「切り上げ」または「切り捨て」する単位をいいます。丸め単位には、1／5／10／15／20／30／60分の7種類があります。

□ 丸め方式

毎日の就業時数を集計するための計算方式です。
「時刻丸め」と「時数丸め」の2種類があります。

17 故障かなと思ったら

■故障かなと思ったら、次の確認をしてください。

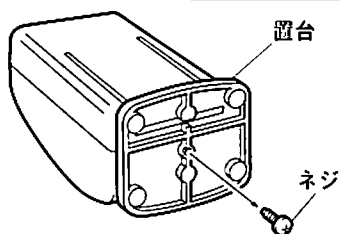
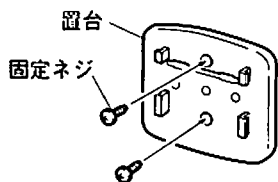
こんなとき	原　因	処　理
タイムカードが入らない	・停電中 ・設定変更の操作中 ・カードの表裏を間違えて入れた ・異物が中で詰まっている	➡回復するまで待つ ➡通常画面に戻す ➡正しい面を手前にしてカードを入れ直す ➡異物を取り除く
時計が合っていない	・時計の進み／遅れ	➡時刻を直す 8・14頁→参照
印字段が違う	・締日設定の間違い ・印字段ホームポジション未検出	➡正しい締日に直す 9・15頁→参照 ➡調整が必要です 修理の手配をする
印字が薄い／出ない	・リボンカセットが外れている ・リボンカセットの寿命	➡正しく装着する 25頁→参照 ➡リボンカセットを交換する 25頁→参照

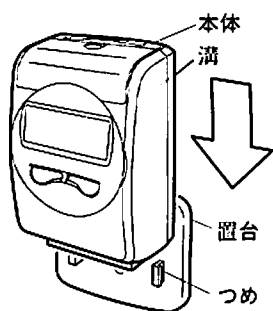
17

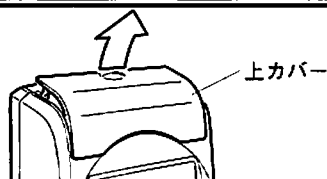
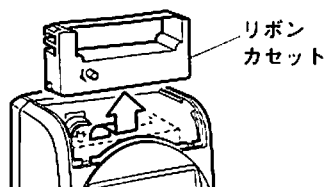
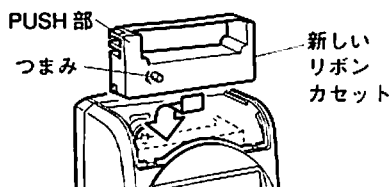
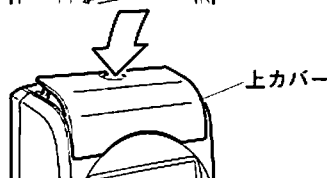
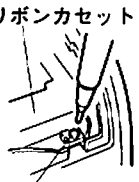
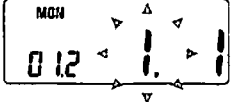
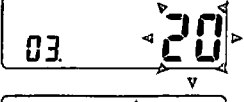
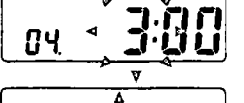
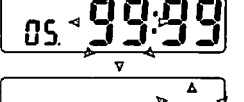
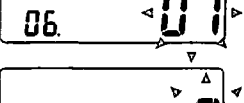
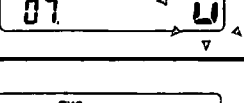
18 エラー表示

■エラー発生時、表示画面に以下の番号が表示されます。
表示番号を確認して、処理してください。

エラー表示	エラー内容	原因と処理
EC-F	フィードエラー ・印字位置までカードを引き込んだが、カードを検出できない	印字直前にカードを抜いたものと思われます。動作中はカードを抜かないでください。 ▼ カードを入れ直してください。
EC-C	カード表裏エラー ・カード表裏を間違えた	カードの面を確認して再投入してください。
EC-2 EC-4 EC-6	カード詰まりエラー ・異物などが詰まっているとき	異物を取り除いてカードを入れ直してください。 ▼ エラー表示が何度か出る場合は、修理が必要です。
EC-P	プリンタートラブルエラー	機械のトラブルです。 ▼ 修理が必要です。
ECE7 EC-E	バーコード読み取りエラー	カードを入れ直してください。 ▼ エラー表示が何度か出る場合は、修理が必要です。
EC73	カルコロカードを51人以上使用しようとした	カルコロカードは51人以上登録できません。
EC80 EC86	出勤または退出時に重ね打ちしようとした	本機は、同じカードの重ね打ちはできません。
EC03	RAMエラー	CPUのトラブルです。 ▼ 修理が必要です。
EC83	退出後に、再度カードを投入した	退出時に打刻してから再度同じ日に打刻することはできません。
EC84	出勤時（IN）の打ち忘れエラー	出勤時に打刻を忘れています。 ▼ そのままでご使用ください。

19 壁への取付けかた

■本体底面のネジを外し置台を本体から取りはずします。

■置台を付属の固定ネジ(壁取付用)で壁にしっかりと固定します。

(注) ネジのはずれやすい壁(石膏ボード等)はさけてください。

■置台のつめを本体裏面の溝に合わせて、本体をスライドさせ取り付けます。

20 リボンカセットの交換のしかた

■上カバーをはずします。

■リボンカセットを取り出します。
図の様に、リボンカセットの前方を手前に引き起してから、上へはずします。

■新しいリボンカセットをセットします。
上から差し込み、前方へ倒してください。
このとき、つまみを回して、リボンのたるみを直してください。
パチッと音がするまでPUSH部を強く押します。

■上カバーを取り付けます。

21 リセットボタンと年月日の設定《危険》

ご注意：リセットボタンを押すと設定されている内容（打刻データ・設定データ）が全てクリアされます。

本機は、工場出荷時に年・月・日を合わせて出荷しておりますので、通常この操作をする必要はありません。再入力する場合は、**年/月/日/時/分/締日/日替時刻／出退切替時刻／丸め・・・**の順で全項目を再入力してください。

順序	操　作	説　　明	表 示 部
1	リボンカセット リセットボタン	上カバーを外し、内側の**リセットボタン**(赤色)を細い棒(ボールペン等)で軽く押してください。 《設定画面に変わります》	設定内容が全て**クリア**されて「初期値」に変わります。 データは全て消えました。
2	IN INボタンで ウインク している画面 を変更 ↓ OUT OUTボタン で入力 ↑ 《繰り返す》	以下の順序で入力してください。 **【年】➡** 年は西暦で入力します。 **【月】➡【日】➡** 今日の日付に合わせます。 **【時】➡【分】➡** 入力は24時間制です。 (例)午後1:45➡13:45 **【締日】➡** 締日を入力します。 **【日替時刻】➡** 日替時刻を入力します。 **【出退切替】➡** 出退切替時刻を入力します。 **【丸め】➡** 丸め単位を入力します。 **【丸め方式】➡** 丸め方式を選択します。 • •	SAT 01.1 2000 MON 01.2 1.1 02. 0:00 03. 20 04. 3:00 05. 99:99 06. 01 07. 0
3	OUT	最後に**OUT**ボタンを**1回**押して設定終了です。 《通常画面に戻ります》	TUE PM 2 1:45

22 ヘルプ機能

タイムカードに時計と締日変更の「取扱説明文」を印字します。

■操作

① **IN**と**OUT**のボタンを同時に**3秒間**押し続けます。時分の画面に変わったら手を離してください。

② タイムカードを投入してください。「取扱説明文」を印字します。

> **タイムボーイカードまたはカルコロカード以外の用紙は投入しないでください。故障の原因となります。**
> **印字途中でタイムカードを抜かないでください。故障の原因となります。**

印字例

INとOUTを
3秒間同時に押す
02 11:30
〈時〉を直す？
Yes＝INを押す
No＝OUTを押す
02 13:30
〈分〉を直す？
Yes＝INを押す
No＝OUTを押す
〈終了〉 End
OUTを押す⇒終り
3秒間INを押す
⇒締日変更

23 設定内容の確認

タイムカードへ設定されている内容を印字します。

■操作

① **IN**と**OUT**のボタンを同時に**3秒間**押し続けます。時分の画面に変わったら手を離してください。

② **OUT** のボタンを２回押します。（時分の入力を飛ばします。）
End が表示されます。

③ **IN**のボタンを**3秒間**押し続けます。締日の画面に変わったら手を離してください。

④ タイムカードを投入してください。「設定内容」を印字します。

印字例

01-:2000/01/01-5
02-: 0:03
03-:20
04-: 3:00
05-:99:99
06-:01
07-: 0
08-:99:99
09-:99:99
10-:01
11-:99:99
12-:99:99-99:99
13-:99:99-99:99
14-:99:99-99:99

RoM:8C14 oP:011111

> **タイムボーイカードまたはカルコロカード以外の用紙は投入しないでください。故障の原因となります。**
> **印字途中でタイムカードを抜かないでください。故障の原因となります。**

24 メモ

各種設定内容などメモを記入するのにお使いください。

24

【OPTION】

早 見 表

	<タイムボーイカード>	<カルコロカード>	
アドレス項目	打刻のみ	就業時数計算	残業時数計算
	IN+OUT3秒	IN+OUT3秒	IN+OUT3秒
01　年月日	•	•	↓
02　時分	○	○	○
「END」	IN3秒	IN3秒	IN3秒
03　締日	○	○	○
04　日替時刻	○	○	○
05　出退切替時刻	○	○	○
06　丸め単位	—	○	×入力不可
07　丸め方式	—	○	×入力不可
「END」	IN3秒	IN3秒	IN3秒
08　始業時刻	○ﾁ	×入力不可	○ﾁ
09　終業時刻	○ｿ	×入力不可	○ｿ
10　残業時数丸め	—	×入力不可	○
11　残業開始時刻	—	×入力不可	○ｻﾞ
「END」	**終了**	IN3秒	IN3秒
12.1.2　休憩1開始／終了		○	○
13.1.2　休憩2開始／終了		○	○
14.1.2　休憩3開始／終了		○	○
		終了	**終了**

※年月日はリセットボタンを押した場合のみ入力可

■消耗品

消耗品は、お買い上げの販売店にてお求めください。

・タイムカード　　　タイムボーイ用（100枚入/箱）
　　　　　　　　　　カルコロ専用（100枚入/箱No.1～No.50×2）

・リボンカセット（M-1リボン　1色）

■仕　様

集計人数	：最大50人
電　　源	：AC100V　50/60Hz
消費電力	：通常2W　最大20W
環　　境	：温度：−5℃～+40℃
	：湿度：10%～90%RH（結露しないこと）
時計機能	：水晶発振方式　平均月差±15秒（25℃）
月末調整	：万年カレンダー内蔵
表　　示	：液晶デジタル表示
印字方式	：インパクトドット印字方式
リボン	：カセット式1色
メモリ保持	：出荷時より累計停電時間で約3年（常温）
サイズ	：本体幅130×奥行100×高さ206mm
	置台幅130×奥行117×高さ9mm
重　　量	：1.5kg

株式会社テクノ・セブン

事務機器部門 NIPPO®

〒220-0041　横浜市西区戸部本町25-16

札幌営業所	☎011(643)0622	仙台営業所	☎022(238)0533
北関東営業所	☎048(833)2211	東京営業所	☎03(3253)5533
横浜営業所	☎045(322)1146	名古屋営業所	☎052(913)5155
大阪営業所	☎06(6745)8822	高松出張所	☎0878(62)7953
広島営業所	☎082(292)3990	福岡営業所	☎092(612)1631

● 本機についてのお問合せ、修理などの際は、お買い上げいただいた販売会社、もしくは、最寄りの弊社営業所までお持ち込みください。

9CH129PEN2